有田川町議会広報

八わら版

第74号

令和6年8月発行

二次元バーコードから議会の情報をご覧ください

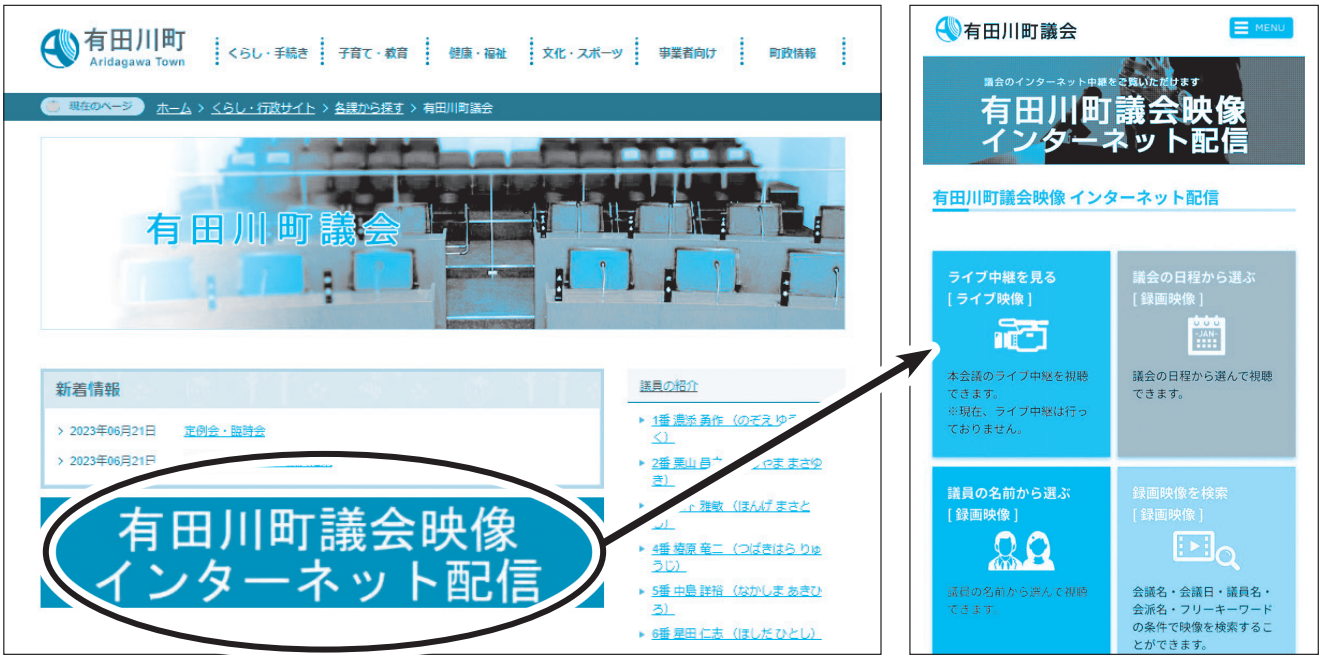
有田川町議会 検索

●発行／有田川町議会　●発行責任者／議長　谷畑　進　●編集／広報広聴常任委員会　●印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地４　TEL：0737-22-3294（直通）　FAX：0737-52-2198

議会「ライブ配信（生中継）」やってます！

リアルタイムで本会議の模様をお届けしています。
録画配信とともにパソコンやスマートフォンなどでお気軽にご覧ください



令和6年第2回定例会の一般質問は6月13日に行われ、7人の議員が登壇しました。
各議員の一般質問は紙面の都合上、要約したものを掲載しています。

一般質問

7人の議員が登壇

椿原竜二	中学校部活動の地域移行は	P３
森谷信哉	災害時の迂回路 整備状況は	P４
殿井堯	新たな部課長の取り組む姿勢は	P５
栗山昌之	「帯状疱疹ワクチン」接種の助成制度は	P６
増谷憲	国民健康保険制度の改善を	P７
堀江眞智子	保育の充実と正職員の増員を	P８
岡省吾	事故を未然に防ぐための道路維持管理を	P９

※各議員ページの二次元バーコードをスキャンすると、一般質問の動画が視聴できます。

次回、令和６年第３回定例会の一般質問は9月12日、13日を予定しています。

中学校部活動の地域移行は

椿原　竜二

問 少子化や教職員の働き方改革を背景に、これまでのような部活動の実施、運営が困難になりつつある。
　国は、中学校部活動の地域移行を推進しているが本町の現状と考えは。

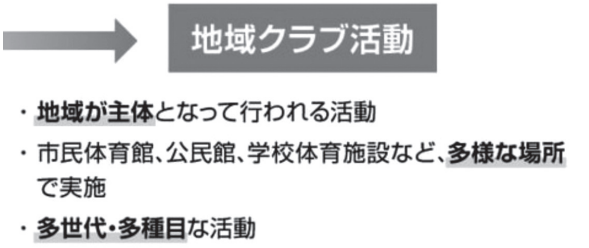
答 現在、地域移行しているクラブ活動はない。
　令和10年度までに、地域クラブ活動の充実をめざす。

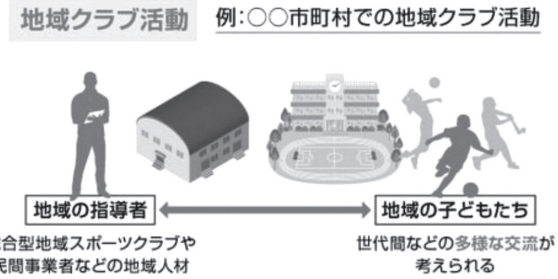
問 地域移行するメリットは。

答 人数がそろわず活動を行いにくい部活動が再編でき、大会に参加できる。
　地域の方と一緒に活動することで、学校との連携や、指導者などの活用が充実する。

問 課題はどう考えているか。

答 地域に受け皿がない場合や施設の確保が難しくなることがある。
　また、月謝・用具・交通費など、保護者の負担がこれまでより増えることがある。





問 地域移行をするべきだと考えている。しかし、大人の都合で地域移行するのではなく、子どもの可能性や成長を最優先に進めるべきだと考えるが見解は。

答 生徒のやる気や可能性、経験を増やすことをベースに、今後の地域移行を考えていく。

問 地域移行しても学校施設は使える認識だが見解は。

答 学校施設は使用できる。

公共施設の太陽光発電は

問 本町では、太陽光発電を設置している施設と、していない施設がある。
　これまでの経緯と、今後の計画は。

答 現在、8施設に太陽光発電設備を設置している。
　太陽光発電設置の可能性を調査した経緯もある。
　耐震強度や耐用年数から、設置は難しい施設が多かった。
　今後、新築する建物や町有施設全般にわたり、設置に対する有利な補助金がないか研究していく。

問 調査の結果は。

答 採算が見込める旧峯口小学校に設置した。
　設置ができなかった施設は、設置面積や日照不足、屋根の耐荷重が基準に満たなかった。

問 PPAモデル（民間の資本で公共施設に設置）は、費用面や防災面からもメリットが大きいと考えるが見解は。

答 初期費用や管理が不要になり、蓄電池を設置すれば災害時にも役に立つ。民間の方から申し入れがあれば積極的に相談にのりたい。

太陽光発電が設置されている旧峯口小学校

災害時の迂回路 整備状況は

森谷　信哉

問 災害時に迂回路が重要だが、現在の県道、町道、林道の整備状況はどうか。

答 昨年度からの町道・林道の災害復旧状況は、町道で28カ所中17カ所、60％復旧。

県道野上清水線は重要な迂回路となるので、県に対して狭小部の拡幅と舗装を要望している。

重要な迂回路となる県道野上清水線

問 国道480号が通行止めになれば、現在の迂回路の状況では災害復旧のため大型車による資材や生コンの搬入、また清水地域にはなくてはならない企業の製品の搬出が困難になる。県道整備の一層の働きかけは。

答 大型車が通行するには、まだ狭小な部分が多くある。しかし、大型車の迂回路として重要な路線であり、県には引き続き現道拡幅を働きかける。

増える獣害 今後の対策は

問 最近の農林業の被害と、イノシシ、シカの捕獲状況の推移はどうか。

答 野生鳥獣による被害は農林業者にとって経済損失だけでなく、営農意欲の減退による耕作放棄、離農につながるなど被害額以上の影響がある。

令和5年度の捕獲実績は、イノシシ738頭、シカ1491頭。

捕獲頭数の推移は、イノシシが豚熱の影響により、一時629頭に減少。一方シカは1.4倍と大幅に増えている。

問 ニホンカモシカは特別天然記念物だが、現在、管理調整して駆除している県はいくつあるのか。

県を通じて国に駆除の許可申請をしてはどうか。また、最近多数目撃されている、ツキノワグマの対策は。

答 ニホンカモシカは、現在8県で頭数調整している。

本案件は複数の自治体に関わるため、県下全域での個体数の把握を行うとともに、保護と管理が両立する対策を強く要望していく。

ツキノワグマも住民の不安が解消されるよう、県に要望していく。

ビニールハウスに出没するニホンカモシカ

問 シカなどの捕獲頭数が増えているが、駆除報奨金の増額は考えているのか。

答 県は捕獲頭数に応じた支援を行うとのことであり、町は国・県の支援を活用して報奨金を支払っていく。

来年度予算は、今年度の捕獲された傾向と実績をふまえて計上したい。

新たな部課長の取り組む姿勢は

殿井　堯

問　4月より新たに議会へ出席されることになった職員に対し、仕事内容とそれに対する取り組みを問う。
　また、町長は職員に対してどのような期待を持っているか。

答（町長）
　管理職は現場の責任者であり、リーダーシップ、コミュニケーション能力、問題解決能力が求められる。
　職員の力を最大限に引き出し、効率的な業務遂行やサービスの提供を期待している。

答（建設環境部長）
　国道・県道の整備は早期の着手・完成に向けて要望していく。
　また、町道などは早期の完成に向けて取り組み、改修は優先度の高い箇所から進めていく。
　災害への備えとして耐震改修補助金の活用、ブロック塀撤去・不良空家除去補助金を活用していただきたい。
　都市公園の整備や農業集落排水（吉原）と公共下水道の統合を進めていく。

答（教育部長）
　「住んで良かった」「住みたい」と思える有田川町のまちづくりに寄与する。
　人を育て、有田川町という地域を育くませることができるよう「有田川町の教育」を充実させたい。

答（産業振興部長）
　農家の経営強化や新規就農者への支援、有害鳥獣対策、森林の育成に努める。
　観光面では、新しみず温泉を誘客の拠点として、地域活性化に取り組む。

答（消防長）
　地震、火災、その他の災害から町民を守る。
　そのため、絶え間ない訓練や消防団との連携協力で、信頼される組織づくりをしていく。

明恵の里スポーツ公園一帯

耐震補強など補助額の増額を

問　個人住宅の耐震改修費が高騰している。
　改修補助金の上限額は116万6千円だが、実績と増額の考えは。
　また、不良空き家の撤去やブロック塀撤去補助の増額は。

答　耐震診断は、令和3年度で8件、令和4年度で10件、令和5年度で6件あった。
　令和6年度は、5月末で25件の申し込みがあり増えている。
　能登半島地震以降、耐震改修の問い合わせが増えており、改修の実施も今後、増加することが予想される。
　今の補助制度で、ひとりでも多くの方に利用してもらいたいので、補助金の増額は考えていない。
　しかし、他の市町村の動向も注視しながら取り組んでいきたい。

空家撤去補助金の増額を

「帯状疱疹ワクチン」接種の助成制度は

栗山　昌之

問 令和6年度から実施される「帯状疱疹ワクチン」接種の補助対象年齢および助成額は。

答 対象年齢は50歳以上70歳未満で、生ワクチンは上限4千円。不活性化ワクチンは上限1万円。それぞれ生涯一回限り。

問 近隣町に比べて年齢上限があったり、接種が2回必要な不活性化ワクチンの助成も1回分であったりと助成が薄い。

もっと手厚くできないか。

答 住民の要望や接種医療機関の情報、県内市町村の実施状況、予算の状況など十分に考慮しながら検討を行っていく。

問 令和7年度から助成制度を手厚くして、令和6年度の助成不足分も救済できないか。

答 制度を含めて検討する。

こども誰でも通園制度への対応は

問 こども家庭庁が進めている「こども誰でも通園制度」。

令和8年度から全国で実施される予定だが、本町の対応と準備は。

答 保育士の確保を人事部局に要望する。

不足があれば会計年度任用職員の募集を行う。

また、保育実習生の積極的な受入れ、保育士を養成する大学との連携強化、情報交換を行う。

なお、中高生には保育現場での職業体験、小中学生には保育のやりがいや重要性を解く保育士出前授業などを計画し、学生の意識を高めたい。

実施場所は、子育て支援センターなど利用可能な施設を検討していく。

問 現状のこども園入所条件で、2人目の出産を控える町民がいる。

これは「豊かで住みよいまちづくり」「ずっと住み続けたいまちづくり」という町の基本方針に反するのでは。

答 出産を控える要因は、育児支援不足のほか、いろいろな理由があると思う。

「女性が住みたいまちづくり」「地域の魅力を生かした住民主体のまちづくり」も基本目標に取り組んでいきたい。

問 保育士確保のため、奨学金制度を創設するなど考えられないか。

答 資格取得の助成は国の補助金などを活用しながら研究していく。

※その他「地域プロジェクトマネージャー事業とは」を質問しました。

国民健康保険制度の改善を

増谷　憲

問　国保世帯の所得状況は。

答　国保世帯の43％が年間所得１００万円以下である。

問　国保税の県内統一化はいつになるのか。市町村の状況もあり、難しいのではないか。

答　令和９年度までに納付金ベースの統一をめざし、令和12年度から完全統一することが計画されている。

問　マイナンバーカードの取得や国保保険証の紐づけは、強制できないことになっている。間違いないか。

答　取得は任意である。マイナ保険証を所有していない方は資格確認証で対応できる。

問　国保保険証をマイナンバーカードへ紐づけした人数は。またカードの利用率はどうか。

答　人数は４４０４人。利用率は4.5％である。

問　国保税を払えていない方は資格証になる。病院を受診したときは、窓口で医療費を全額支払い、後で精算することになる。これでは受診できなくなるのではないか。

答　住民負担の公平性を考慮する観点から理解いただきたい。

問　国保税が統一化されても、独自の減免は市町村の判断でできる。すべきではないか。

答　法定減免があり、独自の減免は考えていない。

問　国庫負担金が総医療費の45％から38・5％へ減らされている。本町への影響は。また、国庫負担率を45％に戻すよう国への働きかけは。

答　約１億８０００万円が減らされていることになる。今後も要望していく。

マイナ保険証で受診

風力発電の対応は

問　環境団体や弁護士会などの専門家は、自然を守ることに最大の価値があると指摘している。本町における自然環境の認識はどうか。

答　白馬山系の自然環境は将来にわたり住民の財産として守っていくべきものであり、環境への影響を最大限回避した事業とするよう伝える。

問　「住民の反対の声を無視して進めるのは地元理解が得られていない」という経産省大臣の答弁もある。

　また、風力発電を考える会が反対署名をもって町長と懇談した。

　内容は、知事に「住民の声を届けてほしい」「反対の意思表示をしてほしい」ということだった。

　知事には伝えたか。

答　環境アセスメントの町長意見は伝えているが、考える会の意見はまだ伝えていない。

　近々知事に会う機会があるので口頭でも伝える。

自然環境をこわす大型風力発電

保育の充実と正職員の増員を

堀江　眞智子

問　さまざまな子育てニーズに対応できる保育環境を整え、保育士の負担軽減を目的として「支援保育士」が新設された。
　支援保育士の人数は。
　また、役割と処遇は。

答　人数は、藤並6人、きび森7人、金屋第一4人、金屋第二2人、金屋第三2人、清水2人。
　役割は、会計年度任用職員の補助や、正職員の不在時に代わって保育を行い、短時間勤務の会計年度任用職員で保育資格のある者となっている。
　処遇は、会計年度任用職員の給料表に基づいた時給を支給。
　有給休暇があり、育児休業などを取得することも可能である。

問　正規保育士と非正規保育士の割合は。
　また、なぜ非正規保育士が増えているのか。

答　正規は44％、非正規は56％である。
　非正規が多いのは、正職員が育児休業となる場合など会計年度任用職員の採用により補充するため。

問　正規職員増員の計画は。

答　保育士は、令和6年度にも2人の採用を予定している。
　今後も計画的に正職員の採用を進めていく。

万博参加を強制するな

問　3月28日、万博会場のトイレ建設現場で、溶接作業の火花がメタンガスに引火する爆発事故があり、作業員の方が「びっくりするくらいの音だった」と証言している。
　今回のメタンガス爆発を、町はどう考えているか。

答　万博工事中のメタンガス爆発事故は、情報として聞いている。
　メタンガスの安全性は引き続き情報収集に努めたい。

2025年大阪・関西万博会場（2025年日本国際博覧会協会より）

問　安全に絶対がない状況をふまえ、万博見学は児童生徒や保護者の意見を尊重するとともに、学校独自の判断になるのか。

答　万博見学は、町から強制することはない。
　教育委員会から学校に実施を求めるものでもなく、学校の判断を尊重する考えである。

事故を未然に防ぐための道路維持管理を

岡　省吾

問 県による国道・県道の草刈りや溝そうじの回数はどうか。

答 草刈りは年に1回実施されている。
溝そうじは土砂などの堆積が多い箇所から優先的に除去している。

問 雑草の生い茂り方や大雨後の溝への土砂堆積をみると、これらの回数を増やしてもらいたいと率直に思うところ。
県に対応を求めたいが町の見解は。

答 県に引き続き要望を続けるとともに、町としても道路巡回で気づいたことを県に伝えていく。

平素の道路維持管理が求められる

問 道路カーブの見通しを阻害している雑木の撤去は。

答 官有地の雑木は伐採できるが、民有地の雑木は所有者の了承を得ての伐採対応になる。
道路通行者の安全性を考える上で支障となる雑木の伐採、特に見通しが悪い場所の伐採を県に働きかける。

問 道路の上方部に覆いかぶさっている樹木の除去は。

答 県は、車道から4.7m以下のレベルで支障木の伐採を行っている。

問 至るところで樹木が低く垂れ下がっており、本当にそのような高さで管理されているのか疑問だ。
町の見解はどうか。

答 たしかに樹木が低く垂れ下がっているところが確認できる。
県に積極的な支障木伐採を働きかける。

ドクターヘリの現状は

問 年間のドクターヘリ要請件数は。

答 令和5年度中、吉備地区35件、金屋地区19件、清水地区10件、管外4件の計68件要請した。
毎年60件から70件の要請をしている。

問 ドクターヘリ要請に係る一連の流れはどうか。

答 県ドクターヘリ運航要領に則り、通報時に緊急度および重症度を通信司令員が判断し要請する場合と、救急隊が現場で観察した結果により要請する場合とがある。
基本的には、ヘリ運航に支障ない天候で朝の8時から夕方5時までの間の要請となる。

問 重症者を搬送する場合の医大までの所要時間は。

答 要請時は医大から消防本部ヘリポートまで平均10分で到着する。
この時間が医大までの所要時間とほぼ同じと考える。

問 ヘリポートの設置状況はどうか。

答 吉備地区で9カ所、金屋地区で12カ所、清水地区で10か所。
令和5年度にヘリポート整備の要望が1件あった。

ドクターヘリの存在は大きい

一般会計補正予算 5億2521万円
金屋テニス公園整備工事に4286万円

令和6年度第2回定例会は、6月4日から18日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案はすべて原案のとおり可決。

令和5年度一般会計補正予算

4億7700万8千円（減額）

問 4保育所LED化工事設計82万円の減額理由は。

答 当初、設計は外注だった。しかし補助金の対象外となり、職員で行ったため減額した。

問 がん患者医療用補正具購入補助金25万2千円の減額。実績は3件しかないが周知は。

答 令和5年10月からの開始であり、対象者は少ないと考える。今後も広報で周知していく。

問 林業測量用タブレットが全額減額となった理由は。

答 タブレットの納期が年度内にできなかった。令和6年度に予算計上し、業者と契約している。

令和6年度一般会計補正予算

5億2521万5千円

〈おもな事業〉

高齢者等新型コロナワクチン接種委託料　5712万円

金屋テニス公園整備工事　4286万円

きび保健福祉センター非常用照明設備修繕料　103万円

公共土木施設災害復旧費　4億2000万円

町道北入山上浦線

町道下村多井線

請負契約

◎金屋農村センター解体撤去工事　7722万円

三洋建設株式会社

解体撤去される金屋農村センター

条例の一部改正・制定

◎国民健康保険税条例の一部改正

国の法改正に伴うもの。

問 今回限度額が引き上げられる。4人世帯の所得限度額は。

答 医療分で723万円。介護分は784万円。

問 限度額を超える世帯数は。

答 令和6年度は、医療104世帯、後期60世帯、介護55世帯の見込みである。

問 厚労省は、市町村の意見などを踏まえ、引き上げ幅や時期を判断するとある。本町はどんな意見を上げたか。

答 本町から直接意見を上げることはない。機会があれば、中間所得層の負担増にならないよう要望する。

◎**町税条例の一部改正**
定額減税に係る条例の改正

◎**使用料の徴収に関する条例の一部改正**
老人憩の家「千葉荘」解体撤去による名称の削除

◎**老人憩の家条例の一部改正**
老人憩の家「千葉荘」解体撤去による名称の削除

◎**しみず温泉条例の制定**
新しみず温泉整備に伴う新規制定

財産の取得

◎**高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム購入**
4億9500万円
株式会社富士通ゼネラル

令和６年第２回定例会の採決状況（誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します）

議案名 ＼ 議員名（結果）	濃添	栗山	本下	椿原	中島	星田	谷畑	西	林	岡	森谷	堀江	増谷	殿井
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定（可決）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	○
令和６年度有田川町国民健康保険事業特別会計補正予算（可決）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	○

（注）谷畑進議員は、議長のため採決には加わらない。　○は賛成　×は反対

新任職員 議会を傍聴

今年４月に新しく採用された町職員４人が、６月１３日午前中の一般質問を傍聴し、アンケートに回答してくれました。

有田川町職員としての責務を自覚し、住民に信頼される職員として、職責を全うされることを期待します。

インターネット上で議会中継を視聴したことはありましたが、議場での傍聴は今回が初めてでした。実際の議場は、映像では感じ取れない独特の緊張感があり、私自身も身の引き締まる思いでした。

本町が抱えている問題について改めて考える機会になりました。町民のことを第一に考え、よりよい町づくりをめざす姿勢が強く感じられました。この経験から議会での内容に目を向け町民の期待にこたえられるような人材になりたいです。

議会を傍聴してどう感じましたか?

新しいことを学ぶことには関心があるので、住民や周囲の方々の意見を聞いたり経験することを通して、住んで良かったと思えるまちづくりの力になれるように取り組んでいきたい。

職員に対しての意気込みを質問されていたのがとても印象的でした。

回答の中で『地域の特性を生かしたまちづくり』を進めたいとおっしゃられたように、私自身も有田川町をより良くするために、一職員として取り組んでいきたいと感じました。

また私は、乳幼児・子ども医療に関する業務に携わっているので、子どもに関する質問に興味を持ちました。少子化が課題として挙げられている背景を、有田川町の子どもに携わる身として、しっかり把握しておきたいです。

産業建設住民常任委員会

【建設環境部】

○町道北入山上浦線道路災害復旧工事

9億6550万円

平成30年6月20日の豪雨により、広範囲で山側法面および自然斜面が崩壊。

道路が寸断し、河川が埋塞しました。

観測経過をみながら国土交通省防災課と協議を重ね、令和6年2月19日に地すべり災害と認定されました。

復旧工事は早期に発注し、令和8年度中に完了させる予定とのことです。

上空から見た町道北入山上浦線（三瀬川地区）道路災害現場

【産業振興部】

○新しみず温泉

工事の進捗およびオープンに向けた説明を受け、現地視察を行いました。

「泉質・温冷交互浴・ミストサウナ」が新しみず温泉の特徴になります。

7月23日にオープンした「新しみず温泉」

総務文教福祉常任委員会

【消防本部】

○消防指令共同業務

湯浅広川消防組合と共同で、高機能消防指令システムおよび消防救急デジタル無線システムを購入します。

入札に向け3社を指名しましたが、仕様書への対応が可能な業者が1社だったため、随意契約となりました。

適正な金額と判断したため、仮契約に至ったとのことでした。

4億9500万円

【福祉保健部】

○特別養護老人ホーム「しみず園」

現在の指定管理者が令和7年度末をもって更新しない旨の申し出があり、次の指定管理者を公募するとのことでした。

公募は、県内で特別養護老人ホームを運営している法人に直接案内をするほか、町ホームページで周知します。

8月に入札を予定しているとのことです。

【教育部】

○金屋第一こども園

金屋農村センターを解体撤去し、その跡地に新築するものです。

その他、藤並公民館新築工事、中学生海外研修事業、絵本コンクールなどの説明を受けました。

石垣小中学校と小川小学校を訪問

こども議会が開催されました!

令和6年7月5日に鳥屋城小学校6年生による「子ども議会」が開催されました。
4班に分かれて自分たちで質問事項を考えて質問しました。

【1班】

問 私たちの通学路には道幅が狭く、白線がなかったり薄くなっている場所がある。
　白線を引いたり、危険な道路に標識や看板、カーブミラーを立ててほしい。

答 危険な箇所から順番に工事をしている。
　安心して通学できるように安全対策に努める。

【2班】

問 有田川やミカン畑でごみを見かける。
　地域をきれいにする取り組みを増やすことはできるか。

答 意識の改革を進め、みんなで協力して有田川町の美しい環境を守る取り組みを進めていく。

【3班】

問 有田川町に、障がい者施設が少ないと感じた。障がい者施設を増やす、スロープや車いすを増やしたり、音響式信号機に取り替えする計画はあるか。

答 公共施設は、スロープや点字ブロックなどを設置し、バリアフリーとなっている。車いすは、各施設に設置済みで、町社会福祉協議会で、車いすの貸与もある。

【4班】

問 プライバシーの観点から男子トイレにも仕切りがあったほうがいい。

答 清掃に時間がかかる、視覚的な盲点ができる、緊急時に仕切りが障害となり、迅速な対応が難しくなる。

問 学校で不審者侵入の訓練時にベランダから逃げるところがないことに気付いた。
　ベランダにスロープや、避難用滑り台などを設置してほしい。

答 不審者が侵入した際は、不審者がいない方向の内部階段で避難できるような避難計画を考え、定期的に訓練をしてほしい。

～ まっすぐな子どもの目線から ～

（関連記事は13ページ）

【町民の皆さまへ】

次回定例会の予定

令和6年第3回定例会は9月3日開会予定で、一般質問は9月12日、13日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

請願・陳情の受付

第3回定例会での審議を希望する場合は8月26日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ☎22-3294
吉備庁舎4階 議会事務局まで

広報広聴常任委員会

◎増谷　憲
○本下雅敏
椿原竜二
中島詳裕
岡　省吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

7月5日、鳥屋城小学校6年生による「こども議会」が開催されました。

4班に分かれて日ごろから感じている疑問点や、聞いてみたいことを町長などに質問しました。

この経験が、将来の有田川町にとって貴重な財産になることを願っています。

本定例会から議員定数の議論を開始しました。

日ごろのお困りごとや疑問点はもちろん、議員定数のご意見や考えもお届けいただければと思います。

最近は熱中症警戒アラートが頻発する日々です。

こまめな水分補給・睡眠・バランスの良い食事など、健康な体づくりを心がけながら、猛暑の夏を乗り切りましょう。

（椿原　竜二）